

NEWS RELEASE

抗インフルエンザウイルス薬「アビガン[®]錠」 新型コロナウイルス感染症を対象とした開発の中止について

2022年10月14日

富士フイルム株式会社
富士フイルム富山化学株式会社

富士フイルム富山化学株式会社（本社：東京都中央区／社長：佐藤 充宏）は、抗インフルエンザウイルス薬「アビガン[®]錠」（一般名：ファビピラビル）（以下、「アビガン」）について、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）を対象とした開発の中止をお知らせいたします。

富士フイルム富山化学は、2021年に、ワクチン非接種のCOVID-19患者に対する「アビガン」の重症化抑制効果の確認を目的に、目標症例数316例とした国内臨床第Ⅲ相試験を開始しました。しかし、ワクチン接種率の向上や従来株と比べて重症化率が低いオミクロン株の流行などの環境変化を踏まえ、2022年3月に84例で被験者の組入れを終了していました。

その後、84例で得られたデータの解析では、有意な結果が得られていないことを確認し、今後の対応を検討する中で、今般、「アビガン」のCOVID-19を対象とした開発を中止し、COVID-19に係る効能・効果などを追加する製造販売承認事項一部変更承認申請の取り下げを行うことといたしました。

【参考】「アビガン[®]錠」について

2014年3月に新型又は再興型インフルエンザウイルスを適応症として国内で製造販売承認を取得した抗インフルエンザウイルス薬です。他の抗インフルエンザウイルス薬が無効又は効果不十分な新型又は再興型インフルエンザウイルス感染症が発生し、本剤を当該インフルエンザウイルスへの対策に使用すると国が判断した場合に、患者への投与が検討される医薬品です。

本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します

【報道関係】

富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
TEL 03-6271-2000
富士フイルム富山化学株式会社 総務人事部
TEL 03-5579-5754